

夏休みにがんばったこと

牛久保小・4 浅川 ひまり

まちにまった夏休みが始まって、楽しいこともある反面、体を動かすことが大好きな私にとって、家でのひまな時間はとてもたいくつに感じました。そこで、私は楽しいことをたくさんするだけではなく、夏休みで新しいことにちよう戦することが決まっていたので、むずかしいことでもあきらめずにがんばってみようと思っていました。その中で、特にがんばったことが二つあります。

一つ目は、バスケットボールです。バスケットボールは、子ども会の行事で今年初めて参加しました。始める前は、近所の五年生の子が毎日バスケットボールを練習している音が聞こえてきて、楽しそうだなと思っていました。始めてみたら、シュートやドリブルなどのボールのそう作がむずかしかったです。しかし、続けることで、みんなと一緒に練習することが楽しいと思ったり、シュートもたくさん入るようになってうれしいと思ったりするようになりました。特にドリブル・シュートでは、ボールが自分の思うように動かずいろいろな方向へ飛んでいきました。しかし、チームメイトと三対三でミニゲームをすることやパスやシュートなどの練習

を重ねることで、少しずつそう作が上達していき、たくさんシュートが入るようになりました。シュートがたくさん入るようになって、今度はきき手ではない方の手でのボールそう作がむずかしいと思うようになりました。なので、これからは、きき手ではない方でドリブルやシュートなどのボールそう作を練習して、ボールを上手にあつかうことができるようになりたいです。九月は市内大会があります。四年生ということもあり、選手になることが出来るか分からないですが、選手に選ばれて活やくするために、これからも練習をがんばっていききたいです。

二つ目は、新体そうです。新体そうは三才からずっと続けています。今年は、クラスが変わったことで、クラスの一周年下になり、体も周りの子より小さいかんきようで、むずかしいことにチャレンジすることが多くなりました。新体そうは、発表会に向けてクラスで音楽を決めて、ダンスの流れも自分たちで決めます。最初は手具を使わない徒手で、次はボール、そしてリボンといった流れでおどることになりました。徒手のダンスでそく転をしてから、足を前後に開きやくしながらジャンプをするというむずかしい動きがあります。最初はジャンプの高さが足らず、足も開かなくて、その動きがむずかしいと感じていました。しかし、ダンスが上手なお姉さんに分からないところを聞きに行って、コツを教えてもらったり、自分の動きを見てもらってアドバイスをもらった

りました。そのおかげで、今は足もしつかり開くようになり、苦手なことを乗りこえることができました。先生からも、「覚えるのが早いね」

とほめてもらって、がんばって練習してよかったなと思いました。今は発表会に向けたダンスを一番がんばっています。これからも練習を続けて、選手クラスにいけるようにがんばっていきます。

これらのけい験によつて、努力をすることで最初はできなかったことが、できるようになったり、苦手だと感じていたことを乗りこえたりすることができました。苦手を乗りこえることで、自分自身でできることが増えていくことを感じましたが、新しく苦手なことが表れることも分かりました。自分の努力と成功の体験によつて、一番成長できたと思う夏休みになりました。これからも苦手だと感じることはたくさんあると思いますが、一つ一つの問題と向き合つて、苦手をおそれずにこく服していききたいです。